

2017年12月23日発行

鵬 鷲

HOSAI

「鵬」は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬(おおとり)が飛ぶ(=はるかなかなたの)空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第123号)

http://www.goroyoka-yatsushiro.com
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com

CONTENTS

- 1 ・代表幹事挨拶
- 2 ・妙見祭「提灯の検討運動」8月例会報告
・9月例会報告
- 3 ・会員交流拡大委員会 ・7月例会報告
・八代未来創造戦略委員会
- 4 ・情報発信委員会
- 5 ・実現させよう八代～天草架橋
・交替会員紹介
- 6 ・インバウンドによる経済効果拡大



八代天草架橋の実現に向けて

八代経済開発同友会 第54代 代表幹事 兼
八代・天草架橋建設促進民間協力期成会 会長

杉 本 隆 之

平成29年11月に金子衆議院議員のご案内で、中村八代市長と共に国土交通省道路局へ「災害に強い地域づくりや広域連携強化に資する交通基盤整備について」という要望を行いました。つまり、八代・天草架橋建設促進のための要望です。それを民間と行政の期成会が共同で要望書を提出しました。このことは、熊本県の道路整備計画に掲載されていないことを要望した極めて異例なことだと思います。歴史的な出来事です。

この八代・天草架橋建設構想は、昭和60年、細川知事の熊本都市圏を結ぶ「90分構想」から始まりました。この運動が一番盛り上がったのは、平成17年の総決起大会です。県の調査費がつき801億円という建設費用が算出された。しかし、民主党政権の時代には「コンクリートから人へ」というスローガンのもと、国は3県架橋を含む長大橋6つのプロジェクトを凍結しました。まさに冬の時代です。

さて、民間期成会が出来て25年、四半世紀になります。私は真木前会長の後任として、5年になります。Dream it! Do it! Make innovations! その可能性を求めて、平成27年2月に、沖縄県の伊良部大橋を見学しました。この大橋は、構想から38年が経過して総事業費380億円で建設されました。全長3.54km通行料が無料の大橋なのです。この事業は国が9割で地元負担が1割の国直轄の事業です。八代・天草架橋も可能性があるのではないかとの感じを持ちながら毎年、熊本県議会や県知事に八代・天草架橋建設の要望活動をしてきましたが、県の対応は冷ややかなものでした。

ところが、最近その県の対応、国の対応に変化があります。それは多分、平成28年11月に国土交通大臣が、国会で、長大橋について「一度ゼロベースで必要性を再整理する」と答弁し、下関北九州道路建設が動き出したこともその一つだと思います。

そこで、現状打開の意味も込めて、検討に検討を重ねて、平成29年9月に熊日新聞に意見広告を出しました。その内容は、宇土半島から天草2市1町へ至る陸路は、天草五橋を通る国道一本に依存しており、災害時対応の観点から緊急輸送路の確保が必要不可欠。また、九州新幹線・高速道路などの高速交通網の結節点としての機能やアジアに向けた物流拠点としての八代港を擁する八代と天草を短時間で結ぶ道路の建設は県南地域の発展のみならず南九州の発展へも貢献できるという内容です。

八代・天草架橋の距離は8.8kmです。総工費801億円。この架橋が出来れば車で、八代と天草間がわずか10分で行けるのです。これこそ、イノベーションです。

来年度は、八代・天草架橋早期実現のための署名運動を展開します。この運動による一人ひとりの理解が地域の声としての機運の高まりとなると思いますし、実現に向けた足掛かりとなるものと信じています。そして、その署名運動の成果を熊本県知事に請願書として提出したいと思います。

ぜひ、皆様に八代・天草架橋に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

委員会活動報告

妙見祭支援委員会

委員長 盛高 経博

委員会活動の一つが「提灯の献灯運動」の復活です。将来的には一万個を目標に継続して行きたいと考えますが、10月末の現時点で300個を超える注文があり、その中の約100個が宮地地域から注文があり、提灯の灯り一色にして八代神社（妙見宮）のお膝元からユネスコに相応しい町並みになることを期待しています。

8月例会では、地域活性化に精通された松江慎太郎氏を講師に迎え、松江氏の人気企画である100円ワインフェスの妙見宮での開催などのご提案をいただきましたので、ユネスコ支援応援対等とも協力して妙見祭や地域の活性化に繋げて行ければと思います。



フラッグス(株)
代表取締役社長
松江 慎太郎氏 ▶



活力ある地域づくり委員会

委員長 有馬 圭一郎

活力ある地域づくり委員会9月例会では(株)サンリオより講師をお招きし「サンリオソリューション事業の事例と展望」と題してご講演をいただきました。

八代が推進する物流拠点・大型クルーズ船入港促進・国際観光促進・地域経済活性化対策など日本国内だけでなく世界に配信する八代を目指すためのブランドプロモーションの手法を創造することができました。



▲(株)サンリオ 企画営業部
地域ソリューションシニアマネージャー 朝山 真一郎氏

会員交流拡大委員会

委員長 綿田 一角

本年度の委員会活動といたしましては、主に懇親会の司会、運営を担当してまいりました。

委員会事業として慶寿の会、船出浮きを企画いたしました。

慶寿の会は対象者の方の鯛を自分たちで釣る企画を立ち上げ、荒波にも負けず鯛を釣り上げ会を盛り上げることが出来ました。



船出浮きは、会員外からも参加者を募り会員と交流を深めてもらうことで会員増強にも繋がればという思いで企画しました。

委員会としては12月に経友会も控えていますので皆様のご参加よろしく申し上げます。

慶寿の会



八代未来創造戦略委員会

委員長 高崎 正

SJK事業協同組合の副理事長 本田和博氏と事業推進本部長 吉永義明氏を講師にお迎えし、「外国人技能実習生制度」についての講演をいただいた。同制度の本来の目的は発展途上国の発展を担う「人づくり」に貢献することであるが、若い実習生を迎える

ことによる社内の活性化や国際理解の推進、海外進出への足がかりとなるなど、多くのメリットがあることを学んだ。また、八代の未来を展望するにあたって避けては通れない雇用問題について考える機会となった。



▲SJK協同組合
事業推進本部長 吉永 義明氏

情報発信委員会

委員長 平山 浩子

本年度の事業目的は、情報発信としての本来の役割を見直し、実行しようというシンプルなものです。委員会としては、例会の取材・ホームページへの投稿。また、今回担当例会の企画・運営等をやってみての、いろいろな気づきも生まれました。

5月例会は、株式会社通信館 竹永元会員をお招きしての“経営と人生について”の熱き講演は、同友会に新たなinnovationsを起こし、また10月例会では、同友会の魅力アップこそが、発信力アップ

に繋がるとの思いで、同友会会員同士の絆を深める例会を企画・運営させていただきました。結果は、まだまだ十分なものではありませんでしたが、やったことは決して間違いではなかったのかなという思いも生まれました。

とにかく、あと5か月余り、愚直に情報発信に取り組んでいきたいと思えます。

皆様のなご一層のご協力もお願いいたします。



▲メルシャン株式会社八代工場
清水 庸輔氏と蔵人5名様



◀株式会社 通信館
代表取締役 竹永 淳一氏

各委員会活動総集編！



実現させよう!! 八代-天草架橋 片道『車で10分!!』

昨年末、2008年に凍結された海峡横断プロジェクトの一つ「下関北九州道路」の建設に向けた調査に国費を投入の記事がでました。長年凍結されていた海峡横断プロジェクトが動き出したことは、八代天草架橋にとってもプラス材料だと感じております。

八代地域には港に関するプロジェクトや物流拠点構想など、皆様ご存知の通り様々な追い風が吹きつつあり、「八代・天草架橋建設促進民間協力期成会」設立25年の節目の年である今年度に、再度機運を盛り上げ、多くの方々に周知頂く為の事業の一つとして『意見広告』を熊日新聞に掲載しました。(県南18市町村で構成される期成会と民間期成会2団体)

今後も皆様方と情報を共有し、そして八代天草架橋建設構想が熊本県計画となるように活動を行いますので、お力添えの程、何卒宜しくお願い申し上げます。

八代天草架橋建設促進委員会

委員長 三枝崎 能久

実現させよう! 八代-天草架橋

私たちは、八代-天草を結ぶ橋(八代天草架橋)の早期建設を求めます!



交替会員の紹介

友澤 健治 会員 52歳

平成29年11月16日 入会承認
セレクトロイヤル八代 総支配人
《前会員名》小嶺 俊英

川添 潤仁 会員 48歳

平成29年11月16日 入会承認
熊本中央信用金庫八代支店 支店長
趣味 ドライブ
《前会員名》岩下 修

「インバウンドで八代の経済効果を最大化」

11月27日（月）八代経済開発同友会平成29年度11月臨時総会の後、今、県内外から注目を集めているインバウンド関連のフォーラムが開催されました。パネリストの皆様は、下記の方々です。

八代市役所	国際港湾振興課課長	緒方 浩 様
一般社団法人	DMOやつしろ事務局長	長石 祐司 様
㈲交泉企画工業	取締役工務部長	松本 春義 様
八代商工会議所	経営支援課課長	木村 幸之助様

以上4名



現場からの生の声を聴くことができ、この機をチャンスとしっかりととらえ、地元の経済に、それぞれの商売に結び付けるためのヒントとなる内容が盛りだくさんです。

是非とも、皆様 下のQRコードよりご覧ください。

インバウンドフォーラム動画はコチラ!



八代経済開発同友会HPのトップ画面の動画をクリックしてご覧ください。